

守山まるごと活性化プラン検討委員会  
第5回 学区別会議（守山学区）

日時：平成25年11月14日（木）

19：30～21：30

場所：守山会館

次 第

1. あいさつ
2. 説明
  - 本日の進め方
  - 第4回のふりかえり
3. 意見交換
  - プロジェクトの絞り込み
  - 取り組み実現の方向
  - まちづくりのテーマ
4. 今後の進め方
5. 一言感想

## 守山まるごと活性化プラン検討委員会(学区別会議)委員名簿

### 【 守山学区 】

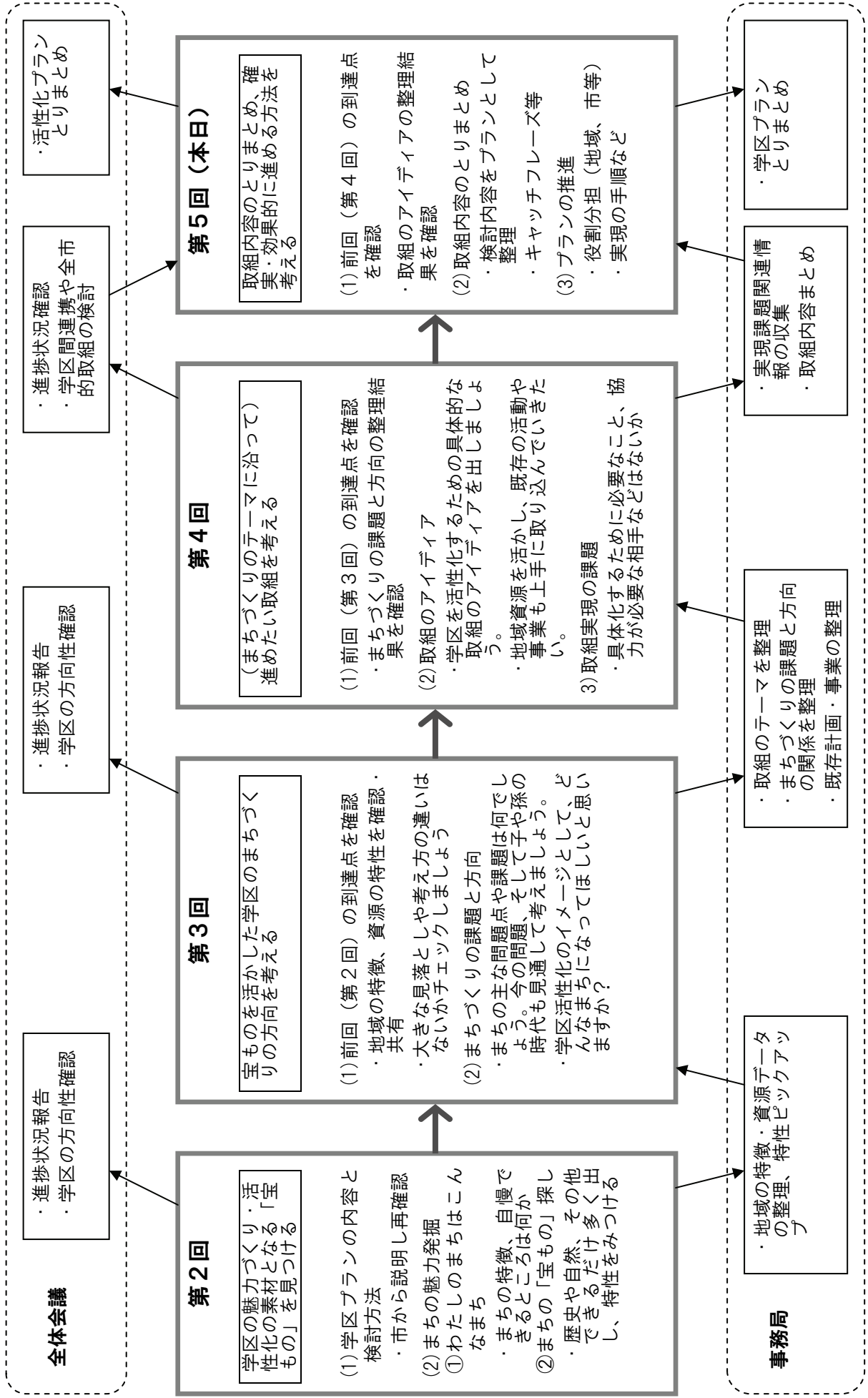
H250731 現在 敬称略

No.	自治会名	名前 (ふりがな)		性別
1	今宿	原田 稔	はらだ みのる	男
2	今宿	樋口 知孝	ひぐち ともたか	男
3	今宿	石川 博敏	いしかわ ひろとし	男
4	泉町	堀井 隆彦	ほりい たかひこ	男
5	泉町	堀井 直晃	ほりい なおあき	男
6	本町	和田 信雄	わだ のぶお	男
7	本町	小島 朋毅	こじま ともき	男
8	梅田町	井上 純作	いのうえ じゅんさく	男
9	梅田町	竹村 祐輔	たけむら ゆうすけ	男
10	勝部	藤本 律男	ふじもと りつお	男
11	勝部	小島 良和	こじま よしかず	男
12	勝部	舟橋 光義	ふなはし みつよし	男
13	焰魔堂	伴野 正二	ばんの しょうじ	男
14	焰魔堂	宇野 実	うの みのる	男
15	千代	千代 雅人	ちしろ まさと	男
16	千代	小中 繁	こなか しげる	男
17	阿村	竹中 輝雄	たけなか てるお	男
18	伊勢	園田 耕三	そのだ こうぞう	男
19	伊勢	田中 貞明	たなか さだあき	男
20	二町	笹井 治夫	はずい はるお	男
21	二町	相宮 青一	あいみや せいいち	男
22	古高	今井 和雄	いまい かずお	男
23	古高	梅景 安夫	うめかげ やすお	男
24	大門	中島 勘治	なかじま かんじ	男
25	横江	尾田 隆	おだ たかし	男
26	弥生の里	仁平 宏	にひら ひろし	男
27	大鳥	藤山 直久	ふじやま なおひさ	男
28	大鳥	澤井 良介	さわい よしすけ	男
29	サムズ守山	弘光 由美	ひろみつ ゆみ	女

### 事務局

- ・濱崎一志 (アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授)
- ・竹村隆夫                      ・小島秀晃                      ・高橋和也
- ・坪内稔夫                      ・吉原史雄                      ・足立慎也
- ・田渕誠一                      ・貞松純子                      ・前田雅人

# 学区別会議の進め方



# 守山まるごと活性化プラン検討委員会 学区別会議 ニュースレター

## 第4回 学区別会議 [守山学区]

平成 25 年 10 月 10 日（木）午後 7 時 30 分から守山会館において、守山まるごと活性化プラン検討委員会の第 4 回学区別会議を開催しました。

守山学区にお住まいの住民 18 名で、まず前回会議で出された学区のまちづくりを進めていく上での課題や方向性について、大きな見落としがないかなどふりかえりました。次に、学区のまちづくりの具体的取り組みについて話し合い、最後に参加者同士で共有しました。

### 学区別会議の様子

#### ■当日のプログラム

- ①挨拶：千代学区長より
- ②内容説明：本日の進め方、第 3 回検討結果の説明
- ③テーブルに分かれて意見交換：『前回会議のふりかえり』、  
『学区のまちづくりの取り組みを考える』
- ④結果の発表・共有：テーブル毎で話し合った内容を発表して共有



▲結果を発表し参加者で共有

### テーブル毎に守山学区の『まちづくりの具体的取り組み』について話し合いました



▲テーブル毎に話し合いました

- 3つのテーブルに分かれ、前回会議で出された守山学区のまちづくりを進めていく上での「課題」や「方向性」の確認を行いました。その後、学区の「たからもの」と「課題」を関連づけて、学区のまちづくりの「具体的取り組み」について話し合いました。
- 『学区の課題』として、JR東側に核となる施設がないため、住民の意識づくりや高齢者や子育て世代が活動する場がない。人口増加が続いているので、各区規模の見直し検討も必要ではないかという意見がありました。また、『学区の方向性』における次世代を担う人の育成の取り組みとして、子供会をきっかけとした人のつながりやボランティアの育成などがあげられました。
- 各テーブルから共通して挙げられた『具体的取り組み』は、「水とホテルの保護」「伊勢遺跡の活用」「子育て応援」で、その他にも「安心・安全で住みやすさ日本一を目指す活動」や「中山道や食の創造による観光活性化」「JR東側の活性化」「工業団地や工場の活用」などのアイデアがあげられました。
- それらすべての取り組みにおいて、「人づくり」が共通のキーワードとなっています。

## 守山まるごと活性化計画 学区別会議実施記録 第4回

### 1. 実施概要

学区・回	守山学区 第4回
日時	2013年10月10日(木) 19:30~21:30
会場	守山会館
参加者	住民18人(今宿0人、泉町0人、本町2人、梅田町2人、勝部3人、焰魔堂1人、千代2人、阿村0人、伊勢2人、二町2人、古高0人、大門1人、横江1人、弥生の里0人 大鳥1人、サムズ守山1人) 守山市(竹村、高橋、坪内、足立) 地域未来研究所(田淵、貞松、前田)
会場設営	3テーブルを設置し、自治会に関係なく抽選で着席
実施経過	<p>1. 挨拶</p> <p>①開会挨拶(坪内課長補佐)</p> <p>②開会挨拶(千代学区長)</p> <p>・JR東側は人口が増えているにも関わらず公共施設がない。将来の住みやすいまちづくりの道筋をつけるために、JR東側の課題についても学区として話し合う必要がある。本日を含めて残り2回であるが、人・自然・文化を活かした学区の方向性や取組みを見つけていきたい。</p> <p>2. 説明</p> <p>①本日の進め方(田淵)</p> <p>②第3回検討結果の説明(田淵)</p> <p>3. 意見交換(テーブル別ワーク)</p> <p>①前回のふりかえり</p> <p>・前回の会議結果(課題・活性化の方向性)を整理した資料を見ながら、課題の見落としや示された視点への違和感がないかどうかについて確認を行った。</p> <p>・再検討結果の概要は、各テーブルのファシリテータより報告された。</p> <p>・学区の課題として、JR東側に核となる施設がなく、高齢者や子育て世代が活動する場や住民の意識づくりの場がないという意見があった。それに伴い、JR東側の施設の整備を伊勢遺跡と一緒に考えてはどうか、また今後も人口増が予想されるため学区規模の見直し検討も必要ではないかという意見があった。</p> <p>・また、次世代を担う人の育成の取組みとして、子供会をきっかけとした人のつながりやボランティアの育成などがあげられた。</p> <p>③学区のまちづくりの取組みを考える</p> <p>・たからものとまちづくりの課題を関連づけて、どんなことができるか、何をしたら学区が元気になるかについて、具体的な取組みを各自で考え、カードに書</p>

	<p>いてもらった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みのアイデアカードは模造紙に貼り、グルーピングして概略の特徴を整理した。</li> </ul> <p><b>4. 結果の発表・共有</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブル毎に参加者の代表がまちづくりの取り組みアイデアについて、検討結果を発表。</li> <li>・全てのテーブルに共通して挙げられた取り組みは、「水とホテルの保護」「伊勢遺跡の活用」「子育て応援」であり、その他にも「安心・安全で住みやすさ日本一を目指す活動」や「中山道や食の創造による観光活性化」「JR東側の活性化」「工業団地や工場の活用」などのアイデアがあった。</li> <li>・それらすべての取り組みにおいて、「人づくり」が共通のキーワードとなっている。</li> </ul> <p><b>5. その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回会議の開催日時は、11月12日（木）19:30～、守山会館にて開催が決定された。</li> </ul>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

守山学区第4回会議の様子



## 2. 第4回学区会議の意見まとめ

守山学区のまちづくり活性化の具体的取組み（アイデア）をまとめた。【主なもの】

### <守山学区のまちづくりのアイデア>

#### ■住民が主体となった自治会の魅力向上

- ① 活動内容を新住民にPRし、自治会の周知と理解を図る。
- ② 子どものつながりづくりや高齢者の居場所づくり。
- ③ 自治会活動を考える会を立ち上げ、自治会のあり方や運営方法を改善する。

#### ■安心・安全の住みやすさ日本一の取組み

- ④ 住民参加によるセーフティネットを構築し、安心して住み続けられるまちにする。
- ⑤ スクールガードの強化、命のバトン制度の早急な整備。

#### ■水とホタルコミュニケーション活動

- ⑥ 子供たちによる美化や生態系の維持を通じた水に親しむ活動の実施。
- ⑦ ホタル保護活動やホタル週間の設定。

#### ■人のつながりによる子育て応援

- ⑧ 子育ての環境づくりで、守山学区を子育て推進地域とする。
- ⑨ 寺院で地域の子どもに学校で教えないことを教えてもらう。

#### ■シニアの力を活かす

- ⑩ 青空市場、手作り手芸品展示販売の運営を当初自治会が手助けする。

#### ■歴史の語り部

- ⑪ シニアパワーを活かし、地域の子どもに地域の歴史を伝え、地域への愛着につなげる。。

#### ■伊勢遺跡の活用

- ⑫ 遺跡を復元し、地域の物産販売等を計画するなど観光の目玉とし、観光客を誘致する。

#### ■中山道と食の観光活性化

- ⑬ ボランティア案内の充実とサービス向上、範囲の拡大等に挑戦して、地域の活性化を目指す。
- ⑭ 守山のうまいもの発見・創造

#### ■JR東側の活性化

- ⑮ 守山東館を建て、まちづくりや住民の意識づくりの拠点にする。

#### ■地元工業の活用

- ⑯ 学区の工業を身近に感じるため、「どのような物を制作・製造しているか」等、地域住民を対象に工場見学会を開く。

## 2.1 学区のまちづくりの取り組みのアイデア

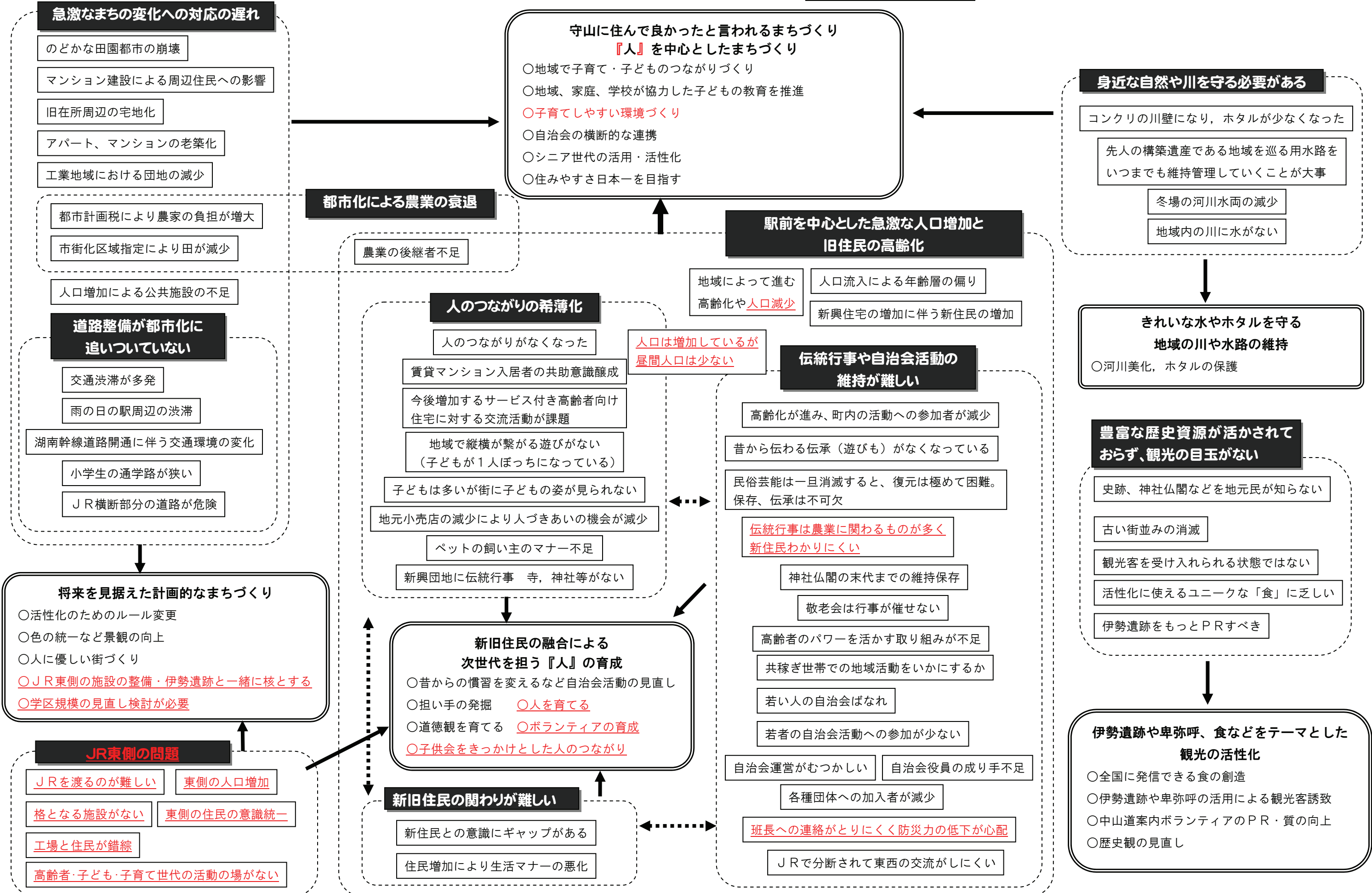
分類	活用するたからもの	活性化の取り組み
自治会の魅力向上	人・自治会	<p>活動内容を新住民にPRし、自治会の周知と理解を図る</p> <p>子どものつながりがりづくりから始め、親世代のまちづくりへの参加につなげる</p> <p>新旧住民に適応するため、自治会活動を考える会を立ち上げ、自治会のあり方や運営方法を改善する。</p> <p>行政事務の削減をし、地域の特性を活かした活動を考える。</p> <p>各自治会が納める税金をその自治会活動に還元する（地域の税込10%を還元）</p> <p>自治会活動を横断化し、連携する。</p> <p>高齢者の居場所・仕事・生きがいづくり。</p> <p>新住民と旧住民による新しい文化の創造。</p> <p>ボランティアの基盤を作るために、福祉・見守りや老人ホームを地域で作って運営する。</p> <p>中心市街地活性化がまもなく終了するので、そのときの委員さんとの連携活動の必要性</p> <p>ボランティア活動知ってもらう工夫をする</p>
安心・安全の住みやすさ日本一	ボランティア活動 人、自治会	<p>住民参加によるセーフティネットを構築し、誰もが住み続けられるまににする</p> <p>スクールガードの強化</p> <p>「命のバトン」制度の早急な取組。</p> <p>通学道路等危険な道路の整備</p> <p>道路幅や安全を確保するため、道路そばの水路に(半)フタをして側道にする。</p>
水とホタルのコミュニケーション活動	水路、川、蛍、水	<p>川や自然の保全、高齢者から子どもまでホタルを中心に思いが1つとなる</p> <p>水路や川を活用し、子供たちの美化や生態系の維持を通じた活動</p> <p>ホタルの保護活動、ホタル週間の設定</p> <p>ホタル保護・水環境保全のために、守山市道上（全市道上）でのタバコ喫煙規制（条例化）、除草剤散布に対するルールをつくる（条例化）</p> <p>地下資源を活用した酒造り。</p> <p>幼稚園児に魚釣り（二町自治会）</p>
人のつながりによる子育て応援	自治会、人、寺院の住職	<p>シングルマザー・ファミリーへの支援。</p> <p>子育ての環境づくりを行い、守山区を子育て推進地域とする。</p> <p>宗派にとらわれず地域の子どもに学校で教えないこと（情報、道徳、仏さん、神さん）を教えてもらう。学習会を常設してもらう。</p>



分類	活用するたからもの	活性化の取り組み
シニアの底力を活用	自治会・シニア層	子どもが安心して遊べる街づくり（鎮守の森） シニアパワーを活かした地域活動の取組を考える 青空市場、手作り手芸品展示販売の運営を当初自治会が手助けする（健康・手なぐさみ・こづかい）
歴史を語り次ぐ	「物部」の名前 シニア・子ども	歴史を次代に語り継ぐことは大事なことだと思う。このことを抜きでは守山学区の歴史を語れない。
伊勢遺跡の活用	伊勢遺跡	シニアパワーを活かして地域の子どもにも地域の歴史を伝え、地域への愛着につなげる。 伊勢遺跡を中心とした文化ゾーン指定。 伊勢遺跡史跡区画整理事業を実施 遺跡を再現し、観光の目玉とする。人の流れを生み出す。 日本の歴史を大きく変えるような貴重な遺跡を有効に活用し地域の進展を計画していくことが大事。建物の復元、地域（守山）の物産販売等を計画して観光客などを増やす。 JR線東側の活性化。
中山道と食の観光活性化	中山道、神社仏閣、お祭り	ボランティア案内の内容充実とお客さんへのサービス向上、範囲の拡大等に挑戦して、地域の活性化を目指す。 存続が危ぶまれている無形文化財の継承支援のために、祭に使用する小道具類を保管展示するとともに見学された方へ祭の概要などについて案内や説明する。 由緒正しい宿場町として江戸情緒を全面に押し出した施設づくりやイベントを計画する。「もりやまいち」のような「市」だけでなく。 守山のうまいもの発見・創造 曲直瀬道三の石碑の設置（守山市で生まれる）。観光資源。 松明の資料室を設置し観光の活性化の一助。
JR守山東側活性化	JR守山東側	守山東館づくり、高齢者の集い、子育て、若手育成などまちづくりの拠点にする。
地元工業の活用	伊勢遺跡 工業団地・工場	伊勢遺跡を有効活用して、JR東側の活性化を行う。 工業団地にある企業は「どのような物を制作・製造しているか」等、地域住民を対象に工場見学会を開き、地元工場を身近に感じる。 工業団地拡大や企業誘致などで税収を確保し、雇用を生み出す。



# 守山学区の課題・活性化の方向性



(注) 第3回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。赤字は第4回会議での追加・修正意見



# 守山まるごと活性化プラン（守山学区）の取組内容について

## 1. 守山学区の将来像のテーマ（案） → 1案に絞る

案1：守山に住んで良かったと言われる『人』がつながるまちづくり

案2：住みやすさ日本一を目指す『人』が主役のまち 守山

案3：“歴史・ホタル・水”が輝く、“人”が輝く 守山

案4：伊勢遺跡と中山道をつなぎ、東西が一体化したまち 守山

## 2. 守山学区の住民主体のまちづくりプロジェクト（案）

### ■プロジェクト1 自治会魅力向上プロジェクト

人口増加や旧住民の高齢化に伴い、年々自治会運営が難しくなっているため、自治会のあり方や活動内容を見直し、共働き世帯や高齢者など誰もが無理なく参加できる自治会活動づくりを進めます。

#### ●取組1 自治会運営・体制の見直し

→自治会活動を考える会を立ち上げ、自治会のあり方や運営方法を改善し、地域の特性を活かした活動を検討

→自治会活動の横断化と連携

#### ●取組2 誰もが参加できる自治会活動づくり

→新住民に自治会活動をPRし、自治会への周知と理解を促進

→新旧住民による新しい文化の創造

### ■プロジェクト2 人がつなぐ子育て応援プロジェクト

新住民を中心に増加している子育て世代では、子どもを始め親世代も人のつながりが希薄化しているため、地域で積極的に子育てに関わり、子育てしやすいまちを目指します。

#### ●取組1 地域による子育て支援

→地域、家庭、学校が協力した子どもの教育推進

→子育て環境づくりで、守山学区を子育て推進地域に指定

→シングルマザー・ファーザーへの支援

→子ども同士のつながりから、親世代へと人のつながりを拡大し、まちづくりの参加につなげる

#### ●取組1 寺小屋の復活

→学校では教えてくれない地域のことや言い伝えを寺院で子どもたちに教える

### ■プロジェクト3 子どもたちへの語り部プロジェクト

---

人口増加に伴い、子ども達が増えているにもかかわらずまちに子どもの姿が見られなくなるなど、子どもたちの遊び場が減少し、子どもの頃からの地域とのつながりが薄れつつあります。守山の良さや歴史を語り継ぎ、次世代を担う子ども達を地域で育成する仕組みをつくります。

#### ●取組1 子どもたちの遊びの確保

→鎮守の森などを子どもたちが安心して遊べる場として活用し、昔から伝わる遊びや伝承を継承する

#### ●取組2 次世代を担う子ども達に伝承

→シニアパワーを活用し、学区の歴史や地域の遊びを子どもたちに語り継ぎ、子どもの頃から地域への愛着を醸成  
→ボランティア体験などで道徳観を育てる

### ■プロジェクト4 安心・安全の住みやすさ日本一プロジェクト

---

誰もが安心して住み続けられるような守山学区を目指すために、高齢者の居場所づくりや、助け合いの活動など、住民主体の仕組みづくりを進めます。

#### ●取組1 住民によるセーフティネットの構築

→命のバトン制度の早急な整備  
→高齢者を中心とした住民の居場所づくり

#### ●取組2 安心・安全活動の強化

→スクールガードやパトロールの強化  
→通学路など危険な道路を住民目線で点検し、行政と一体となって整備する

### ■プロジェクト5 水とホタルから輝くプロジェクト

---

多くの水路や川がめぐり、ホタルが舞うことが守山学区の大きな特徴となっています。これらの身近な宝ものを地域で保全・保護し、水とホタルを中心に、高齢者から子どもまで誰もが参加できるコミュニケーション活動を展開します。

#### ●取組1 水とホタルを中心としたコミュニケーション活動

→水路や川を活用したホタル保護活動や川に親しむ遊びやイベントの創出  
→ホタル週間の設定  
→住民の地道なボランティア活動を知ること、地域の水や自然、自分たちのまちを守る意識を醸成

#### ●取組2 水に親しむ活動の実施

→子どもたちによる水に親しむ活動の実施（魚釣り、美化活動、生態系の維持活動）

#### ●取組3 ホタル保護・水環境保全のためのルールづくり

→タバコ喫煙規制や除草剤散布規制の条例化など、ホタル保護・水環境保全のためのルールづくり

## ■プロジェクト6 守山の歴史・伝統文化再発見プロジェクト

---

中山道関連資源、伊勢遺跡、多くの神社仏閣や祭など、守山学区には外から見ると羨むような歴史資源や伝統文化が豊富に存在します。まずは地域住民がこれらを知ることから始め愛着を持つ仕組みを検討するとともに、地域内外の交流を生み出すほか、地域の魅力向上と活性化を図ります。

### ●取組1 伊勢遺跡を活用した観光活性化

→建物の復元など伊勢遺跡を整備し、伊勢遺跡と中心市街地を結ぶ人の流れを生み出す

→伊勢遺跡と中山道を卑弥呼でつなぐ観光の活性化

### ●取組2 歴史資産や伝統行事の活用・PR

→宿場町として江戸情緒を全面に押し出した施設づくりやイベントを計画

→火まつりや鼓おどりなどの無形文化財の継承支援のために、祭に使用する小道具類を保管展示するとともに見学者に案内や説明

### ●取組3 中山道案内ボランティアの向上

→中山道案内ボランティアの内容充実とサービス向上、範囲の拡大等に挑戦し、地域の活性化を目指す

## ■プロジェクト7 シニアの底力活用プロジェクト

---

地域に眠るシニアのパワーを発掘し、活躍の機会を提供することで、積極的に高齢者もいきいきと活動できる場をつくります。

### ●取組1 交流の場づくり

→高齢者が集い楽しめる人づくりを場の整備

### ●取組2 活躍の場づくり

→青空市場など手作り手芸品や農産物の販売場所の提供

→地域の歴史や伝統の遊びを伝え、地域の愛着につなげるなど、シニアパワーを活かせる地域の取り組みを考える

### ●取組3 シニアパワーの発掘・育成

→地域や歴史の語り部や子どもたちに伝統や生活文化を教える人材を発掘し、育成する

## ■プロジェクト8 全国に発信できる食の創造プロジェクト

---

守山ならではの食文化に乏しいことから、目玉となるような土産物やわざわざ食べに来てもらえるような全国に発信できる商品を開発し、地域の活性化や観光の活性化をめざします。

### ●取組1 守山ならではの食の開発

→地元の食材を使ったスイーツや土産物の開発

→綺麗な水を活用した酒造り

### ●取組2 B級グルメの発掘

→地元のレストランや食料品店によるB級グルメの発掘や、情報の発信

## ■プロジェクト9 JR東側活性化プロジェクト

---

JRで学区の東西が分断されており、人口が増加しているJR東側にはコミュニティ活動の拠点がなく、住民のまちづくりや意識づくりの活動拠点の整備を進めるとともに、東西の人や活動の交流を促進します。

### ●取組1 活動拠点の整備

→高齢者や子育て世代、若手などが集えるまちづくりや意識づくりの拠点の整備

### ●取組2 伊勢遺跡を活用した東西の交流

→日本の歴史を大きく変える貴重な伊勢遺跡を有効活用し、まちづくりや人づくりなど東西の交流を進める。

## ■プロジェクト10 地元工業と一緒にまちづくりプロジェクト

---

企業（工場）と住宅が共存していることが守山学区の特徴であることから、住民は学区内にある工場等を理解し身近に感じ、工場は地域の一員として共にまちづくりに取り組めるように、コミュニケーションの機会を設けるなど交流の場づくりを進めます。

### ●取組1 工場見学会の開催

→地元の工場を理解し身近に感じるため、工場見学会を開催

### ●取組2 工場とタイアップしたまちづくり

→地元の工場とタイアップしたまちづくりの検討